

短大特任教員教育研究業績書

平成 30年 4月 11日

氏名	ふりがな	所属	職位	性別
殿塚 貴史	とのづか たかし	保育学科 通信教育課程	講師	男

担当科目名

保育の心理学Ⅰ、教育相談、幼児理解の理論と方法、基礎学力演習Ⅰ

学歴

和暦(西暦)年 月	事項	学位
昭和 60(1985)年 4月	中央大学 文学部 哲学科 社会学専攻 入学	
平成 元(1989)年 3月	中央大学 文学部 哲学科 社会学専攻 卒業	文学士
平成 6(1994)年 4月	中央大学 文学部 教育学科 学士入学	
平成 8(1996)年 3月	中央大学 文学部 教育学科 卒業	学士(教育学)
平成 8(1996)年 4月	中央大学大学院 文学研究科 教育学専攻 入学	
平成 10(1998)年 3月	中央大学大学院 文学研究科 教育学専攻 修了	修士(教育学)
平成 10(1998)年 4月	中央大学大学院 文学研究科 教育学専攻(博士課程)入学	
平成 13(2001)年 3月	中央大学大学院 文学研究科 教育学専攻(博士課程)中退	

教育歴・職歴

名称	期間	教育内容又は業務内容
サンシャイン学園東京福祉商経専門学校	平成 13年 3月 ～平成 14年 3月	常勤講師 「発達心理学」「教育福祉」を担当。
東京都世田谷区の中学校 心理相談員	平成 14年 4月 ～平成 19年 3月	非常勤心理相談員 主に不登校傾向児及び軽度発達障害児への心理的ケアを担当
東京都港区のメンタルクリニック	平成 14年 4月 ～平成 19年 3月	非常勤カウンセラー 主に神経症や抑うつ及び軽度発達障害のクライアントへの心理アセスメント・心理相談を担当。育児ストレスに伴う母親の抑うつや虐待への不安の心理的ケアも担当。
大学院受験予備校グラデュエイト進学塾	平成 19年 2月 ～平成 28年 3月	常勤講師 臨床心理士指定大学院受験のための心理学関連科目すべて・英語・研究計画書作成の指導を担当
岩谷学園テクノビジネス横浜保育専門学校	平成 28年 4月 ～平成 29年 3月	常勤講師 「発達心理学」「こども学概論」「教育心理学」「教育相談」「発達検査法」「人間関係」を担当。
豊岡短期大学 通信教育部	平成 28年 4月 ～平成 30年 3月	非常勤講師 「発達心理学」「こども学概論」を担当
姫路大学 通信教育部	平成 28年 4月 ～平成 30年 3月	非常勤講師 「発達検査法」を担当
小田原短期大学	平成 30年 4月～	保育学科通信教育課程 講師 「保育の心理学Ⅰ」「教育相談」「幼児理解の理論と方法」「基礎学力演習Ⅰ」を担当

所属学会等

名称	活動期間	活動内容(役職等の活動を含む)
日本発達心理学会	平成 8年 8月～	会員
日本教育心理学会	平成 8年 8月～	会員
自己心理学研究会	平成 10年 8月～	会員
保育者養成教育学会	平成 29年 8月～	会員

社会活動等

名称	活動期間	活動内容
----	------	------

特記事項なし			
担当教科目に関する資格・免許等			
名 称	取得年月	取 得 機 関	
特記事項なし	年 月		
	年 月		
研究実績に関する事項			
代表的な著書、論文等の名称	単 著 共 著 の 別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称 概 要
(著書) 1. 臨床心理士・指定大学院合格のための心理学キーワード辞典	単	平成 20 年 12 月	オクムラ書店 臨床心理士指定校大学院受験の際に必要なとなる心理学キーワードを、一般心理学キーワードとして「心理学研究法」「統計」「理論」「知覚・認知心理学」「発達心理学」「社会心理学」、臨床心理学キーワードとして「臨床心理学とは」「理論と療法」「カウンセリングの諸技法」「パーソナリティ」「適応と不適応」、そして人物キーワードという項目ごとに作成している受験テキスト。
2. 臨床心理士・指定大学院合格のための心理学テキスト	共	平成 20 年 2 月改定	オクムラ書店 基礎心理学、応用心理学、臨床心理学の基礎知識を厳選してまとめた臨床心理士指定校大学院受験のための参考書。1 章「心理学とは何か」、2 章「基礎心理学」の「学習」「情動・動機・欲求」、3 章「応用心理学」の「パーソナリティ」「パーソナリティ理論」「パーソナリティ検査」「パーソナリティ検査の種類」「知能」「発達心理学」、4 章「臨床心理学」の「臨床心理学とは」「精神力動論」「行動-認知理論」「人間性心理学理論」「家族療法」「その他の心理療法及び臨床心理学的アプローチ」「精神医学」、計 18 節分を担当。
3. 発達進学	単	平成 24 年 2 月改定	合同会社グラデュエイト 臨床心理士指定校大学院受験のための「発達心理学」講座のテキスト。1 章：発達の定義、2 章：発達研究の方法、3 章：遺伝と環境、4 章：身体的発達、5 章：エソロジー、6 章：初期経験、7 章：乳幼児期の発達、8 章：自己感の発達、9 章：言語の発達、10 章：社会性の発達、11 章：パーソナリティに関する発達理論、12 章：認知機能に関する発達理論
4. 臨床心理学・心理療法	単	平成 24 年 2 月改定	合同会社グラデュエイト 臨床心理士指定校大学院受験のための「臨床心理学・心理療法」講座のテキスト。1 章：臨床心理学・心理療法の定義、2 章：臨床心理学の 3 つの基礎理論、3 章：心理援助の流れと実際、4 章：臨床の倫理とインフォームドコンセント、5 章：行動療法・認知行動療法各種、6 章：人間性心理学の心理療法各種、7 章：家族への援助と家族療法、8 章：日本の心理療法、9 章：コミュニティアプローチ/学校カウンセリング、10 章：ターミナルケア/グリーフワーク/グリーフケア、11 章：マイクロカウンセリング・その他の心理療法
5. パーソナリティ・心理アセスメント	単	平成 24 年 2 月改定	合同会社グラデュエイト 臨床心理士指定校大学院受験のための「パーソナリティ・心理アセスメント」講座のテキスト。1 章：パーソナリティとは何か、2 章：類型論/特性論、3 章：精神力動論的パーソナリティ理論、4 章：人間性心理学的パーソナリティ理論、5 章：社会心理学的パーソナリティ理論、6 章：行動論的パーソナリティ理論、7 章：健康障害と行動様式、8 章：心理アセスメントとは、9 章：臨床心理査定理論モデル、10 章：パーソナリティ検査とは、11 章：代表的な問紙法、12 章：代表的な作業検査法、13 章：代表的な投映法・描画法、14 章：検査結果の利用 臨床心理士指定校大学院受験のための「知能検査・発達検査」

6. 知能/知能検査・発達検査	単	平成24年2月改定	合同会社グラデュエイト	講座のテキスト。1章：知能とは、2章：知能の構造、3章：知能検査の歴史、4章：知能検査の種類、5章：知能検査の利用、6章：ビネー式知能検査、7章：ウェクスラー式知能検査、8章：その他の知能検査・K-ABC/ITPA/CLAC/T-CLAC/PEP、9章：認知症とは、10章：認知症のスクリーニング検査、11章：発達検査とは、12章：代表的な発達検査
7. 精神分析	単	平成24年2月改定	合同会社グラデュエイト	臨床心理士指定校大学院受験のための「精神分析」講座のテキスト。1章：精神力道論とは何か、2章：古典的精神分析、3章：自我心理学①、4章：自我心理学②マラーの分離・個性化の理論、5章：対象関係論①クラインの理論、6章：対象関係論②ウィニコットの理論、7章：対象関係論③カーンバーグの理論とマスターソンの理論、8章：コフートの自己心理学、9章：ユングの分析心理学とその療法、10章：遊戯療法・芸術療法・箱庭療法、11章：モーニングの心理過程、12章：悲嘆の反応とその病理
8. 精神医学	単	平成24年2月改定	合同会社グラデュエイト	臨床心理士指定校大学院受験のための「精神医学」講座のテキスト。1章：精神医学とは何か・病理水準/病態水準、2章：精神医学的分類、3章：精神病的精神障害、4章：パーソナリティ障害、5章：ストレスと神経症的精神障害、6章：心身医学と心身症、7章：子どもの不適応と子どもの精神障害、8章：精神遅滞と軽度発達障害
9. 学習・記憶・思考	単	平成24年2月改定	合同会社グラデュエイト	臨床心理士指定校大学院受験のための「学習・記憶・思考」講座のテキスト。1章：学習とは、2章：古典的条件付け理論、3章：古典的条件付けの構造、4章：連合説②新行動主義心理学、5章：連合説③スキナーのオペラント条件付け、6章：強化のスケジュール、7章：回避と逃避、8章：一般化と弁別・分化、9章：バンデュラの社会的学習理論、10章：認知説、11章：学習方法・発見学習・有意味受容学習・完全習得学習・ATI、12章：記憶とは、13章：短期記憶、14章：長期記憶、15章：系列位置効果、16章：記憶のモデル、17章：忘却、18章：記憶の変容、19章：思考とは、20章：思考の分類、21章：問題解決の過程、22章：思考におけるバイアス、23章：自然概念
10. 情動・動機・欲求	単	平成24年2月改定	合同会社グラデュエイト	臨床心理士指定校大学院受験のための「情動・動機の心理学」講座のテキスト。1章：欲求・動機とは、2章：社会的欲求、3章：外発的動機付けと内発的動機付け、4章：欲求の階層説、5章：欲求不満・フラストレーション、6章：葛藤、7章：ストレス、8章：不安、9章：情動の生起メカニズム、10章：基本的情動
11. 生理・感覚・知覚・認知	単	平成24年2月改定	合同会社グラデュエイト	臨床心理士指定校大学院受験のための「感覚・知覚の心理学」講座のテキスト。1章：脳の構造と機能、2章：神経系とは何か、3章：ニューロン、4章：睡眠、5章：生理心理学的指標、6章：神経心理学的疾患、7章：感覚・順応と対比、8章：精神物理学、9章：感覚遮断、10章：知覚の恒常性、11章：図と地/群化の法則、12章：奥行知覚、13章：錯視、14章：仮現運動・運動視、15章：色や味の知覚、16章：パターン認知、17章：認知スタイル/心的イメージ、18章：選択的注意/閾下知覚/アクションスリップ
(学術論文) 1. 教室空間における相互行為の場の構造に関する社会心理学的考察 2. 教室空間にお	単	平成29年3月	岩谷学園 保育・教育 研究紀要	学校における教室空間において、教師と児童・生徒・学生がどのように相互行為秩序を形成していくのかを、ゴフマンの理論をもとに、現象学的及び記号論的に分析した。教師と学生との「出会い」の場における相互の自己情報の循環的呈示がどのように学校的秩序を構築していくのか、あるいは不適応を導くのかを明らかにした。

ける相互行為秩序の形成に関する社会心理学的考察	単	平成 29 年 3 月	岩谷学園 保育・教育 研究紀要	学校における教室空間において、教師と児童・生徒・学生がどのように互いを意味付け、相互の自己関与を操作しながら相互行為秩序を作り出していくのかを分析した。また、そこにおける学校不適応が生じるプロセスについても考察した。
(その他)				
その他 (表彰等)				